

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

放射性物質の土壌測定を求める

3月11日の福島第一原発事故以降、各地に大量の放射性物質が飛散しました。今に至っても、20キロ圏はもちろん、それ以外のところでもいまだに空気中の放射線量が高い地域もみられます。問題はそれだけでなく、放射能汚染の課題は食材汚染、河川や近海の汚染、土壌汚染と広がっていることも大きな懸念となっています。町田市の行政施策は、この放射性物質の含有量や放射線量の測定において、極めて消極的でした。全ての測定決定に至る事態で、町田市にはその能力がないとして東京都の判断を仰いできました。下水処理場やごみ焼却場の焼却灰や周辺の空中放射線量の測定実施は、国やセメントメーカーの指示によるものでした。

その間に、放射能汚染の問題は、空中から土壌や植物へと拡散し、最近では、稲わらで育った肉牛から放射性物質が検出されたことが大きな問題となってきています。それでも、政府や自治体、御用学者は、「一度くらい食べても直ちに健康に影響ない」と主張しています。町田市の行政もその主張のグループの一員に入ります。

ただし、町田市議会はその行政の態度と一線を引き、空中放射線の測定は定期的かつ、広範囲に行うべきと考え、その内容の住民請願を一致して採択しました。さらに、学校プールや公園・学校の土壌の放射線量の測定、学校給食の食材にも放射性物質の含有量測定を実施するべきだと所管の健康福祉常任委員会(吉田所属)は一致して付帯決議をしました。結果、空中放射線の測定には、一定の前進が見られましたが、後者についての施策の導入は皆無です。

町田市議会は第3定例会の時期を迎えました。市議会本会議の論議は、9月2日(金)の一般質問でスタートしますが、中でも、私が所属する志政クラブは、「震災・放射線量対策をリードする決意で取り組んでいます」とこの間所信を明らかにしていますので、その主旨を実現すべく長村敏明議員がこの問題で質問をします。



公園、幼稚園、保育園などの「町田市内の土壌調査をすべき」との主張をもつての質問予定ですが、果たして、町田市の判断はどうなるでしょう。「子ども達の生活環境の放射能汚染を少しでも取り除きたい」とする立場か、「国や東京都の指示が出た後、最後に動き出そう」という立場かの選択は、市議会が行うのではなく、残念ながら、町田市のトップや教育委員会の委員に決定権があります。私たちの立場は、住民の皆さんの意向を汲んで行政施策にプレッシャーを与える立場になります。一言で言えば、市議会は「監視」が大きな役割となります。それでも、私たちに与えられた力を使って、子ども達の将来に責任を持たねばならないと思っています。*なお、吉田つとむは、前回に引き続き、独自に学校給食用牛乳(明治乳業製)の放射性物質の含有量測定調査を二学期も実施する計画です。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属: 志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

中町 1-20-23

☎042-724-2127



双方向の情報交流

東大インキュベート施設で、第 1 期インターン生がベンチャー事業

吉田つとむは 1998 年から、大学生を研修生として受け入れるインターンシップを行ってきました。その第 1 期生の一人が出雲充さんで、東大駒場キャンパス内インキュベート施設（アントプレナープラザ）で、「株式会社ユーグレナ」を立ち上げ、藻の一種である、ミドリムシの製造・製品化に取り組んでいます。食用では、クッキーやラーメンの素材に取り入れられていました。その他、工場環境浄化用にも研究が進められていました。

株式会社 ユーグレナ <http://www.euglena.jp/>



(左が出雲充さん、その右に培養装置がある)

このインキュベート施設と言うのは、事業立ち上げ時期に、その支援を行う施設で、大学のほか、自治体が持つものがあります。私は、以前から町田市にその設置を求めています。川崎市や、相模原市も持っています。台東区はファッション分野の支援施設を持っています。



東大赤門前の「山手ラーメン」で食べた、みどりラーメンの案内には、(みどりむしは青虫でない！藻です)と書いてあります。



この日は日経新聞社本社も訪ね、電子版編集長の鈴木亮氏の話伺いました。参加者は、第 28 期研修生の小宮春菜さん(国際基督教大 = I C U ・ 3 年生)、菌部諒さん(東京都市大学 = 旧武蔵工大 ・ 3 年生)、他に、高橋李菜さん(文化女子大 1 年)も同行しました。

研修生の募集について

新たに、第 29 期研修生を募集中です。

募集要綱や研修体験者のリストやレポートは下記を参照してください。検索→(インターンリスト&レポート 吉田つとむ)

<http://j-expert.jp/tosei/int/list/main.html>

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この株式会社 ユーグレナは、藻の一種である「ユーグレナ(和名:ミドリムシ)」の大量培養技術で、2010 年「東京都ベンチャー技術大賞」で大賞を受賞しています。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail: yoshidaben@gmail.com